

「子どもたちの生きづらさ」に向き合って 私たちは何ができるか

いじめ・不登校が年々増加し、その背景も多様化している現代社会においては、子どもの抱える「生きづらさ」を理解し、「子どもの願い」を実現するための新たな視点と対応が求められています。今回の講座では、学校・家庭・社会における支援のあり方についての気づきやヒントを得られるよう基調講演とパネルディスカッションを企画しました。

第1部では、春日井敏之先生に教育実践と教育研究の融合を志向しながら発展した臨床教育学の視点から、いじめ・不登校への支援について講演していただきます。第2部では、現場で活躍している社会福祉士から支援の実際と課題等について話をしていただきます。多くの方にお聞きいただきたいと願っていますので、是非、ご来聴ください。



2023 **12/10** 日 13:00~16:30 (開場 12:30)
立命館大学 朱雀キャンパス 3階 308号室
(参加費) 一般 700円 / 京都社会福祉士会会員 500円 / 学生無料 (定員) 100名
先着順

■ 第1部 基調講演 13:10~14:40



子どもの権利が生きる学校・家庭・社会
-いじめ・不登校への支援と
子どもの願い-

立命館大学大学院教職研究科教授

かすが い としゆき
春日井 敏之 先生

■ 第2部 パネルディスカッション 14:50~16:25

「学校・家庭・地域の現場より」

● パネリスト

京都市スクールソーシャルワーカー・スーパーバイザー 林 聖子氏

京都府立洛南病院 精神保健福祉相談員 服田 将史氏

家族支援ネット♪らるご♪ 支援者 山口 佳菜氏

● コーディネーター

本会 子ども家庭福祉委員会 委員長 矢部 文孝

京都府の公立中学校にて社会科教諭として20年余り勤務。生徒指導、教育相談等を担当。2001年より立命館大学文学部教育人間学専攻に。2017年~2019年大学院教職研究科長。専門は、臨床教育学、教育相談論。1990年代より地域における不登校支援にも参画し、「登校拒否・不登校問題全国連絡会」の世話人等を務める。学校現場の教師等とのケース会議も長年数が所で継続している。神戸市、宝塚市、大津市等で、いじめ問題第三者委員会、再調査委員会にも参画。主著は『思春期のゆらぎと不登校支援』（ミネルヴァ書房）、『よくわかる教育相談』（共編著、ミネルヴァ書房）、『ひきこもる子ども・若者の思いと支援』（共編著、三学出版）、『大学でのピア・サポート入門』（共編著、ほんの森出版）等多数。



申込み方法 | お申込みは FAX・E-mail で受付いたします。(1)講座名「公開講座 12/10」(2)氏名(3)京都社会福祉士会員(会員番号)/一般/学生(4)連絡先(電話番号及び E-mail アドレス)を明記の上、京都社会福祉士会事務局まで。
FAX 075-585-5431 E-mail cswkyoto@mediawars.ne.jp

締切り | 2023年12月1日(金)

○受付完了のご返信はしていませんので、直接会場にお越しください。お申込み多数につき定員に達した場合のみ、ご連絡いたします。○ご連絡いただいた個人情報は連絡等に使用するもので、外部に提供することは一切ありません。○会場への飲料の持ち込みについては、ペットボトルや水筒などの「蓋つき飲料」に限ります。



※右の QR コードをご利用ください